



2020年6月24日

各位

会社名 日本社宅サービス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 高木 章  
 (コード番号 8945 東証第一部)  
 問合せ先 取締役執行役員経理財務グループ長 吉田 勇  
 (TEL. 03 - 5229 - 8700)

業績予想及び配当予想の修正  
 並びに次期業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年6月24日の取締役会決議において、最近の業績動向を踏まえ、2019年8月9日に公表しました2020年6月期の業績予想を下記の通り修正することとなりましたので、お知らせいたします。

また、当社は、同取締役会において、次期(2021年6月期)連結業績予想及び配当予想についても決議しましたので、併せてお知らせいたします。

## 記

## 1. 業績予想の修正

2020年6月期通期連結業績予想数値の修正(2019年7月1日~2020年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,480	1,055	1,101	715	74.00
今回修正予想(B)	8,618	827	872	537	55.58
増減額(B-A)	△862	△227	△229	△178	
増減率(%)	△9.1	△21.6	△20.8	△24.9	
(ご参考)前期実績 (2019年6月期)	8,441	955	1,003	690	72.38

2020年6月期通期個別業績予想数値の修正(2019年7月1日~2020年6月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,605	851	560	57.95
今回修正予想(B)	4,486	850	561	58.01
増減額(B-A)	△118	△0	+0	
増減率(%)	△2.6	△0.1	+0.1	
(ご参考)前期実績 (2018年6月期)	4,315	884	602	63.17

[修正の理由]

2020年6月期の連結業績予想につきましては、社宅管理事務代行業において、一部新規取り組みの投資案件に期ずれが発生したものの、期首計画に沿って事業拡大に向けたオペレーション人員やシステム関連の増強を進めながら、新規稼働の積み上げが堅調に推移しており、概ね計画どおりの進捗となりました。

一方、施設総合管理事業においては、管理サービスに関わる人員の増強を行いました。育成に時間を要していることから、新規受注や修繕工事の受注拡大に一部遅れが生じました。さらに、新型コロナウイルス感染拡大懸念から、新規顧客受注が全面的に停止した他、管理組合の総会や理事会の開催中止や延期に伴いプレイスや修繕工事に時期ずれが発生し、下半期にリカバリーを予定していた不動産サービスやリフォーム工事などの専有部サービスにおいても販売活動や部材調達に遅れが生じた結果、計画値までの回復ができず、業績見通しを大きく下げる結果となりました。

また、その他事業においては、育成段階にある複数のサービスを拡大したものの、新たに取り組んでいる保険サービスにおいて費用が先行したことに加え、営業活動自粛の影響を受け、売上への寄与が大きく遅れる見通しとなりました。

その結果、2020年6月期の連結業績予想につきましては、第4四半期における新型コロナウイルス感染症による減収が5億2千万円、営業利益への減益が1億3千万円程度見込まれることから、売上及び利益ともに当初予想を下回る見込みであります。

新型コロナウイルス感染症の影響額

<今期の想定額>

(単位：百万円)

	社宅管理事務代行業	施設総合管理事業	その他事業	合計
売上高	△20	△443	△60	△523
営業利益	△45	△79	△7	△131

2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2019年8月9日発表)	円 銭 —	円 銭	円 銭 —	円 銭 13.00	円 銭
今回修正予想	—		—	15.00	28.00
当期実績	—	13.00	—		
前期実績 (2019年6月期)	—	9.00	—	13.00	22.00

[修正の理由]

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の重要な政策のひとつと考えており、そのうえで、安定的かつ継続的な配当を行うことを基本方針としながら、今後の事業展開等を勘案して決定することとしております。また、2020年6月期より連結当期純利益に対する配当性向の基準を40%以上としたうえ、DOE（連結株主資本配当率）4%以上を目標とし、各事業年度の連結業績などを勘案しながら利益配当を行っていくこととしております。

当社2020年6月期の期末配当予想につきましては、2019年8月9日付にて1株当たり13円と公表していましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響はあるものの、ストックの積み上げが概ね堅調に推移したことに加え、内部留保の累積状況や資金需要動向等を総合的に勘案し、前回発表予想より2円増配の1株当たり15円とさせていただきます。

これにより、既に実施いたしました中間配当金13円と合わせ、年間配当金は1株当たり28円に修正いたします。

### 3. 次期業績予想

2021年6月期通期連結業績予想数値（2020年7月1日～2021年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
2021年6月期 通期	百万円 9,500	百万円 850	百万円 890	百万円 570	円 銭 58.32

2021年6月期の業績予想につきましては、国内経済の見通しにおいて新型コロナウイルス感染症による個人消費や企業活動への長期化が懸念され、依然として先行きが不透明な状況があるものの、感染拡大への対策を講じながら徐々に収束に向かうものと想定しております。

当社グループにおきましては、基盤事業における堅調な業績の推移を見込んでいるものの、2020年6月期後半の活動自粛から社宅管理事務代行業や施設総合管理事業におけるストックの新規稼働遅れが見込まれ、活動再開後におきましても新規顧客開拓のためのセミナー開催など本格的な活動再開は第2四半期以降になると考えております。また、市場の状況においても、一部の顧客企業や管理組合において投資に対する意思決定に慎重な姿勢が見られることや周辺サービスにおける消費者の購買意欲回復には時間を要することを見越しており、マンション管理に付帯する修繕工事や周辺の不動産・リフォームサービスへの影響も考慮しております。

加えて、計画に基づいたオペレーション人員の増強や2021年6月期からの持株会社化への移行・整備コストが増加することから、次期の連結業績予想は、売上高95億円（前年同期比10.2%増）、営業利益8億500万円（同2.8%増）、経常利益8億900万円（同2.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益5億700万円（同6.1%増）となる見通しであります。

### 4. 次期配当予想

	1株当たり年間配当金		
	第2四半期末	期末	年間
次期予想 (2021年6月期)	円 銭 15.00	円 銭 15.00	円 銭 30.00
当期実績及び予想 (2020年6月期)	円 銭 13.00	円 銭 15.00	円 銭 28.00

#### [次期の配当]

2021年6月期の配当予想につきましては、引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が見込まれるものの、社宅管理事務代行業及び施設総合管理事業におけるストックが堅調に推移するものと予想されることから、2021年6月期につきましては1株当たり年間配当金を、2020年6月期より2円増配の30円00銭（中間配当15円00銭含む）といたしました。

（注）本業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上